

社会資本総合整備計画 事後評価書												令和02年11月13日			
計画の名称	安全安心で魅力ある公園づくり（防災・安全）														
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）											重点配分対象の該当			
交付対象	碧南市														
計画の目標	本市を含む東海地方は南海トラフ地震が予想される地域であり、オープンスペースの整備を行うことにより災害発生時における地域住民の速やかな安全を確保する必要がある。また、碧南市においては、現在51箇所の都市公園が供用されており、設置から長い年月が経過した公園が多く、公園施設の老朽化が深刻な状況にある。平成25年度までに作成した公園施設長寿命化計画に基づき適切に維持管理されているが、経年劣化等により遊具や施設の利用において怪我をする危険性が高くなった公園施設の改築を実施し、公園利用者の安全安心を確保しながら快適な利用を促す。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		469	A	452	B	0	C	17	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		3.62	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	安全安心なまちづくりに資するため、伊勢町地区内の居住者等が災害時に5分程度で避難できる避難場所の整備をすることにより、避難可能な人数を0人から4,200人へ増加させる。			
	伊勢町地区内にある避難場所における避難可能な人数	0人	0人	0人
2	公園施設長寿命化計画に基づき7都市公園において遊戯施設及び公園施設を改築・更新する。			
	公園施設長寿命化計画に基づき改築・更新した7都市公園内における公園施設（遊具等）の割合	0%	50%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中核都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	碧南市	直接	碧南市	－	－	都市公園事業（伊勢町公園）（A1-1）	用地買収A=0.4ha、物件補償N=5戸	碧南市	■	■	■			321		未策定
		別計画へ移行（安全安心で災害に強いまちづくり（防災・安全））																	
	A12-002	公園	一般	碧南市	直接	碧南市	－	－	公園施設長寿命化対策支援事業（A1-2）	臨海公園等7都市公園における公園施設及び遊戯施設の更新	碧南市	■					37		策定済
	A12-003	公園	一般	碧南市	直接	碧南市	－	－	公園施設長寿命化対策支援事業（A1-2）	臨海公園等7都市公園における公園施設及び遊戯施設の更新	碧南市				■	■	94		策定済
											小計						452		
											合計						452		

C 効果促進事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	C12-001	公園	一般	碧南市	直接	碧南市	—	—	公園施設更新事業（C1-2）	雨池公園、栄公園、下山公園、長富公園、碧公園の5都市公園における施設の更新	碧南市	■	■	■			17		未策定	
		雨池公園、栄公園、下山公園、長富公園、碧公園の5都市公園における施設更新をすることにより、公園利用者の安全の確保及び公園利用の促進に寄与する。																		
												小計						17		
											合計						17			

事 後 評 価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制 ・碧南市開発水道部都市整備課（旧公園緑地課）において実施	事後評価の実施時期 ・事業終了後
	公表の方法 ・市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・公園用地に関わる用地買収、物件補償を行ったことにより、避難場所となる都市公園の整備を推進することができた。 ・公園施設の更新実施により、公園利用者の安全性が向上した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

・公園施設の定期点検等により、公園施設の安全性を維持するとともに、公園施設長寿命化計画に基づく計画的な施設の長寿命化対策を実施し、都市公園の適正な管理による公園利用者の安全・安心の確保を図っていく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	伊勢町地区内にある避難場所における退避可能な人数		
	最 終 目標値	0人	別計画へ移行（安全安心で災害に強いまちづくり（防災・安全））
	最 終 実績値	0人	
2	公園施設長寿命化計画に基づき改築・更新した7都市公園内における公園施設（遊具等）の割合		
	最 終 目標値	100%	効果促進事業の事業実施の見直し、及び予定していた事業を優先度を考慮し実施したことによる。
	最 終 実績値	25%	

(参考図面) 社会資本総合整備計画

